



J A 長野厚生連安曇総合病院

# きずな

第218号

発行所: 〒399-8695  
北安曇郡池田町池田3207-1  
TEL(0261)62-3166(代)  
J A 長野厚生連安曇総合病院 一会  
発行責任者: 院長 中川 真一  
編集: きずな編集委員会  
<http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>

## 10年後をめざして



病院長 中川 真一

当院は病院として55年の歴史があり、私は院長として10代目にあたります。私の任期の10年間で当院を日本を代表する病院にしたいと思っています。この実現のために①これまで以上に接遇や医療の安全管理および療養環境の改善に力を注ぎ、②地域とのネットワークの充実と拡大に傾注し、③良質な医療の提供と地域に根ざした医師の養成を図っていく必要があります。

病院は地域においては一つの公的な財産と考えられます。一つの病院が無くなると地域

における安心感が大きく損なわれ、健康事業にも支障が生じます。このようにならないためにも職員が努力して病院を守り、発展させていかなければなりません。

これから当院が充実・発展させていく機能として次の三つがあります。一つ目は地域医療です。地域医療は地域のニーズに応じ地域に根ざした医療の必要があります。一次(初期医療)および二次医療と救急医療をしっかりと行い、訪問診療や看護、居宅支援事業等の在宅医療にもフットワークよく応えていくことが大事です。また、白馬診療所の充実も重要です。二つ目は精神科医療です。当院の精神科で

は現在急性期から慢性期まで幅広く対応し、認知症、アルコール依存症、思春期精神疾患など多くの病気に取り組んでいます。今後一層デイケア、訪問看護、共同住居等を利用して、地域で多くの患者さんが生活できるよう支援を、広げていくことが大切と思われると思います。三つ目の健康管理・保健予防活動では、これまで積極的に進めてきたがん診断・予防に加えて、脳卒中や心臓病などの循環器疾患等の生活習慣病の予防にも、力をいれていく必要があります。

これからの病院は、地域に出掛け情報を得たり、提供したり、の双方向性の活動が重要になってきます。地域医療連携を中心とした開業医、診療所、施設の先生方とのつながり、広報活動による地域の人達への情報発信、痴呆疾患センターの活動にみられるような、行政や保健所との連携等の諸活動を充実発展し、地域との交流を深めていくことが大事です。さらに今後は私が先頭に立ち、他の職員と共に年に1〜2回行政、保健所、JA各事業所等を訪問し、情報交換を行うことを考えています。また、地域の人達に対しては公民館等を利用して健康講話等を行う予定です。

私が9年前佐久から安曇へ赴任する時に考えていた、安曇野ホスピタリティということとを、これから実現していきたいと思っています。これは患者さんに良質な医療と癒される環境を、安曇野という自然を背景にし、提供するということです。最近、臨床研修指定病院となり、病院機能評価も受審しました。研修医を地域に根ざした医師として育て、地域の要望に応える医療の展開ができるように、医師の充実に努めていきたいと考えています。そして10年後には日本を代表するような病院になることを願っています。

## 四季おりおり

「地域とともに」が当院のキーワードです。地域のさまざまな要望にできる限り応えていくつもりです。これからも未永く安曇総合病院を愛していただきたいと思います。

行きつもどりつをくりかえしていた春は、ようやく今がたけなわ。春彼岸のあと、日永でうらかな春の日をようやく楽しめるようになりまして▼花屋さんの店先には、堰を切ったように色鮮やかな花苗があふれ出し、路地の木々の芽もぐんぐん開き出す。草木にとつて、今が一番華やいだ季節といえましょう。「子の夢のふた葉となりぬチューリップ(稲畑汀子)」「この時期の芝桜すきこの街も(鈴木御風)」「咲き満ちて庭盛り上がる桜草(山口青屯)」▼春のころとは、新しい季節の始まりを待つところをいい、四月はまさに出会いの季節でもあります。よき出会い、よき春を。「笑みといふ無言の会釈あたたかし(田中暖流)」

### 第39回長野県精神科病院 協会職員研修会を開催して

看護部部長代理 望月 りえ

長野県精神科病院協会職員研修会が、当病院の当番で3月16日に安曇野スイス村サンモリッツで開催されました。

21病院から約180人が参加され、盛大に行なわれました。

午前は11題の研究発表会があり、各病院での取り組みが報告されました。その後、活発な質疑応答があり、時間を大幅にオーバーする程の熱気でした。

午後は、金松クリニック院長、金松直也先生による特別



講演「生活の場で診る地域診療35年の回顧と展望」が行なわれました。金松先生は、昭和44年に精神病床ゼロ地区に赴任されました。木曽病院の精神科外来を拠点とした地域診療活動を精力的にされ、

往診・訪問の多用、自宅電話の24時間開放、家族会の立ち上げ、保健師との連携を行い、精神科地域医療を築いてこられました。

外見はとても優しく、繊細な金松先生のどこにあれ程のエネルギーが秘められているのか不思議です。定年退職されてなお、クリニックを開業し、患者さんとききあっている様子を聞き、私もパワー・元気をもらいました。

今回の研修会で学んだ事、金松先生からもらったパワーを糧にし、これからもがんばっていかうと思います。  
最後に、金松先生をはじめご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

### 老人性痴呆疾患センター 関係者研修会

大町市デイサービスセンターかたくり

私もデイサービスの業務に携る介護員・看護師・相談員。総勢11名。職員研修会として参加させていただきました。介護保険も5年がたち、この所、ご利用いただく皆さんの重度化に加え、認知症を患うご利用者の増加も顕著になってまいりました。

昨今、介護保険事業の中でも通所介護に係る評価は決して高いものではないようです。しかしこの事業所も決して同じサービスを提供している訳ではありません。サービスの質について個を基本に、さまざまな創意工夫をしながら



利用者・介護者から選ばれる事業所を目指しております。

当事業所は大所帯35人の定員枠でございます。年度の節目ごとにサービス内容の充実を計る取り組みをしてまいりました。施行5年を振り返るにつけ、提供するサービスには、現場に携る者としても法制度枠の中、やりたいがでないサービスとの矛盾と向き合いながらの5年でもありました。

18年・介護保険法の改正に向け、法にも柔軟性をもった内容に期待するところは大有りありますが、先生方のお話を拝聴するにつけ、高齢者の在宅生活をいかに支えるか。社会構造の背景から今後、認知症をどうケアし、また予防していくか。医療のみでなく根付いた地域のニーズを調査し、応えていかうと邁進される先生方の発想と行動力にパワーを頂いた思いがいたしました。法の柔軟性もさることながら、私も事業者も客観的な視点と更に柔軟な発想を持ち、サービスの提供に心していきたいと考えます。

### ひびりびり

看護部 高橋 沙霧

流れ込む初春の風につれて、楽の音が、微かに響いてきています。それは春になると、必ずと言っていいほどの祭りばやしの音だったのを覚えています。それは神社を隔てて鳥居があり、その中間に坂がある。そこを山車(だし)が駆け上がる音だった。

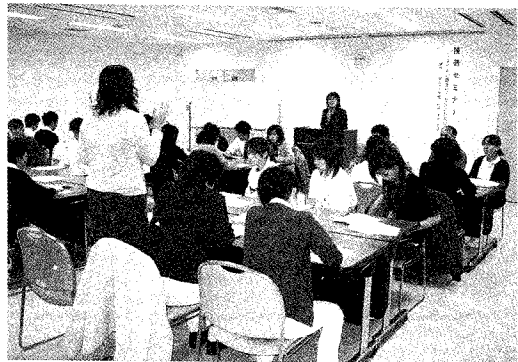
山車とは、少しでも天に近い山を真似て、土を盛った臨時の置山や、樹木、岩石、花笠、人形などを先端に取り付けた柱状の突起物を祭礼時に作つたと言われている。柱状の突起物をただ定位置に置くだけでなく、台に載せて担いだり、移動できる様に車輪をつけ、出し入れ可能にした物が神社に向けて、坂を一気に駆け上がった。大声を張り上げ見ているものを魅了した。ただ駆け上がる事のみを集めても再度、坂を上がる。ただ、圧倒的な迫力に目を奪われた。

### 接遇研修会を終えて

接遇改善委員長 太田 泰子

2月19日にニチイ学館の小林さんを講師に迎え、平成16年度採用職員を対象に「接遇アップトレーニング」により良い患者サービスのためにと題し、接遇研修会を行いました。とかく忙しさに紛れ、患者さんに笑顔で応対できなかったり、手を止めて訴えを聴く、というごく当たり前のことができなくなっている場面を目にすることがあります。

医療機関においてのサービスとは？コミュニケーションの基本は？患者さんの期待に応えるにはどうしたらよいの



か。実際に話す側、聴く側になつて学べる「ロールプレイング」という方法で行いました。医療関係者の聴く姿勢・態度、また、言葉使い・表情がどんなに重要か、皆が体験することが出来ました。研修後のアンケートでも、今までの自分の対応について振り返る良い機会になった、という意見が多数書かれていました。

アンケート結果から抜粋  
○就職してからは忙しいというところで、患者さんの立場になって考えるということ忘れ、自分の都合だけで患者さんに接してしまっていたことに気付いた。「私が患者・家族であつたら」と考えることを忘れてはいけないと思つた。言葉使い、態度を見直したい。(就職1年目の看護師)

○言葉の使い方で謙譲語、尊敬語などの使い方がめちゃくちゃな部分が多く考え直さなければと思つた。(就職1年目の理学療法士)

○選ばれる病院になるために仕事の内容や、態度への努力をもつとすべきだと思つた。(看護助手)

気付くことができれば変化できる、と考えます。研修を重ね患者さんが気持ちよく受診でき、より信頼される病院を目指します。

### 厚生連中南信地区がん検診センターを開設

4月1日に安曇総合病院内に厚生連中南信地区がん検診センターを開設しました。そして、曾根脩輔前安曇総合病院長がセンター長に就任しました。

曾根前院長は5年前、信州大学放射線科教授の時、JA長野厚生連の要請で安曇総合病院長に就任され、このたび、任期満了により院長職を退任されました。

今後は、センター長として専門分野である画像診断業務を担当していただき、併せて後継者の育成に努めていただきます。

### トピックス・アズミ

▼3月3日、佐久看護専門学校

の卒業式が行なわれ、太田看護部長代理が出席しました。

▼3月4日、安曇総合病院を

育み語る会が行なわれ、曾根病院長、太田看護部長代理が出席しました。

▼3月8日、個人情報保護法

対応準備委員会が、当院会議室で行なわれました。

▼3月11日、老人性痴呆疾患

センター連絡会議が県庁で行なわれ、福田科長が出席しました。

### ボランティアコーナー

当院では、平成17年度のボランティアを募集しています。

活動内容は主に外来患者さんの案内や車イス移動、入院患者さんの清拭用使い捨て布の

布切りなどです。

ボランティアを希望される方は講座終了後に入会の手続き等の説明を行いますので受講をお願ひ致します。

ボランティア講座の日程は

左記の通りです。  
① 4月16日(土)午後1時30分  
② 3時30分 於外来棟2F  
会議室

テーマ「当院のボランティアについて」 「感染予防の正しい知識」

③ 4月30日(土)午後1時30分  
④ 3時30分  
テーマ「ボランティアとの協働について」 講師 丸田藤子先生(県NPO活動推進室)

詳細につきましては当院地域福祉科医療相談室又は看護部長室までお問い合わせください。

### 編集後記

北アルプスの山々の雪が解けはじめると、雪形が出現してきます。でも、私には雪形がわからない。毎年出現する所が決まっているのに。

今年もまた、教えていただかないと、私は感性が乏しいのかも！

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供につとめます。

私たちは、事業活動を通じJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

基本方針

- ・皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。
- ・皆さまの権利とプライバシーを尊重する。
- ・皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいたたくことを全ての医療活動の前提とする。
- ・近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。
- ・地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。
- ・在宅医療支援活動の増進につとめる。
- ・保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。
- ・病院職員の健康・福祉の増進につとめる。
- ・適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。
- ・厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

《 診 療 案 内 》

平成17年 4月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	林 田	川 上	井 能	東 方	星 野	川 上(第1.5週) 林 田(第3週)
	内科(一般)再診 (予約制)	川井東津島(第3週)	中川(9時30分~) 井 林	早東川 野方 能田(午後)	中川(9時30分~) 川 林 田(午後)	中川(9時30分~) 井 林 田	早 野
	循環器科	東 方	池田(信大)(午前)	東 方	東 方	渡 辺(午前)	
	呼吸器科	井 能	井 能	井 能	井 能(午前)	井 能	信 大
	神経内科	林 田	中 川(11時~)	中 川(10時~)	中 川(11時~)	中 川(10時30分~)	中 川(第1.5週) 林 田(第3週)
	血液内科	川 上(午前)	川 上(午前)	川 上(午後)	川 上(午前)	川 上(午前)	川 上(第1.5週)
	専門外来				一 條(肝臓) 洞 (腎臓)		高梨(第1週・3週) (リウマチ・膠原病)
精神科	初 診	平中 林 村(伸)	鬼 頭(午前)	竹 内	村 田	鬼 頭(午前) 荻 原	
	心療内科再診 (予約制)	村 鬼 田 頭	村 田	鬼 頭	平 林	村 鬼 田 頭 林 田 原	鬼 頭
	精神科再診 (予約制)	村 鬼 中 村(伸)	村 平 田 林	竹 鬼 内 頭	平 林	平 村 荻 田 原	鬼 頭
	夜間診療(予約制)		村 田	鬼 頭	平 林		
小児科	午前	信 大 原	保 刈(原) (受付11時まで)	原 (保 刈)	保 刈 (原)	原 又は 保刈	信 大 原 又は 保刈
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)	内分泌外来(第3週) (予 約)	慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外来	金 谷	佐 藤	佐 藤	金 谷	金 谷	佐 藤
	呼吸器外科	花 岡(午後)			花 岡		花 岡
	形成外科				伴		
乳腺内分泌外科	望月(乳腺) (11・25日)		藤 森(乳腺) (初診受付10時まで)		信 大(甲状腺)		
整形外科	最中 上 村(恒) 谷	谷 君 高 川 塚 橋	最 上 中 村(恒)	谷 君 中 川 塚 村(恒)	谷 最 川 上 畑	谷川・最上・中村・君塚 (輪番で担当)	
皮膚科	信 大		河 内(信大)		太田(由) 8・22日	太田(由) 2・16・30日	
泌尿器科			石 塚(信大)				
産婦人科	新 井 大	新 井	新 井	新 井	信 大	新 井	
眼科	太 田(い)	太 田(い)	太 田(い) (予約のみ)	太 田(い) (午後コンタクトレンズ要予約)	太 田(い) (受付10時30分まで)	信 大	
耳鼻咽喉科		信 大 (14時から診療)			信 大 (14時から診療)	信 大 (受付11時まで)	
放射線科	高山(曾根)	曾 根	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	
麻酔科 (受付11時まで)	松 本	松 本	松 本	松 本	松 本	松 本	
リハビリテーション科	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	
歯科口腔外科	中 寫	中 信 大(午後)	中 信 大(午後)	中 信 大(午後)	中 信 大(午後)	中 信 大(午後)	

☆第2・4土曜日(4月9日・23日)、29日(祝日)は休診です。